

2021 年度春季大会 開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会

開催日：2021 年 5 月 22 日（土）・23 日（日）

会場：オンライン開催

日本語教育学会では、最新の研究と実践の成果の発信・共有や、参加者間の交流・ネットワーキングの促進を目的とした大会を年 2 回（春・秋）開催しており、大会委員会はその企画・運営を行っています。新型コロナウイルス感染症の流行が続くなか、昨年度の秋季大会に続いて今大会も全面的にオンラインで開催されました。有料イベントへの事前参加登録者は 1,028 名（招待・関係者含む）で、47 都道府県および 51 か国からの参加がありました。

春季大会では、日本語教育学会が掲げる 3 つの社会的研究課題を順に取り上げて発表募集テーマを設定しています。今年度の春季大会では、社会的研究課題 2 「日本語人材・複言語人材育成のための日本語教師養成・研修の理念と枠組みの再構築」に基づき、発表募集テーマを「日本語教師に求められる資質・能力をめぐる課題」としました。公募による大会発表では発表募集テーマに関連した各種発表 14 件を含む、パネルセッション 3 件、口頭発表 25 件、ポスター発表 17 件が、審査・運営協力員の協力を得て行われました。発表は、大会特設ページ上でオンデマンド・ビデオおよび資料を配信し、参加者は事前に発表ビデオとポスターを視聴・閲覧し、質問を提出しました。大会当日は同期型会議システムを用いてリアルタイムの質疑応答が行われ、各発表会場では対面開催時と同様に活発な議論が見られました。

オンラインで開催された昨年度の秋季大会後に参加者から寄せられたご要望に応じ、今回は大会終了後も 2 週間、大会特設ページ上で各種ビデオおよび資料を視聴・閲覧していただけるようにしました。見逃した発表を見たり、大会当日の質疑応答を踏まえて発表を改めて振り返ったりしていただく機会として活用いただけたのではないかと思います。今大会についてアンケートでいただいた課題も、改善に向けて検討してまいります。

このほか、一般公開プログラム「根を深くはり、梢を見あげる－日本語教育の樹よ育て」（調査研究推進委員会）、わかばさんいらっしやい／ぷらさ da わかば（チャレンジ支援委員会）、Net-J（学会連携委員会 Net-J 部会）、科研申請アドバイスセミナー（調査研究推進委員会）なども同時開催されました。大会プログラム及び発表要旨は[こちら](#)をご覧ください。大会予稿集も[こちら](#)から購入可能です。

次回の秋季大会は、2021 年 11 月 27 日（土）・28 日（日）に全面オンラインで開催の予定です。

（文責：大会委員会）